



# ぶんりだより

東京文理学院高等部  
令和四年度 第三号  
発行日 令和四年十月六日

## 「体育祭を終えて」

学院長 小野塚 雅信

雲を突き抜け、凜とたたずむ東京スカイツリーを背景にして、懸命に走り、呼吸を合わせて跳び、威風堂々と舞う。そんな皆の姿を誇らしく眺めていました。

今年度の体育祭は、天候にも恵まれて、久しぶりの終日開催となりました。体育祭は、順位を競い合う種目がほとんどなので、勝敗にこだわることも楽しみのひとつではありますが、自分の出場種目に励むだけでなく、最後にゴールする選手に対して、スタンドから惜しみない拍手を送る皆の温かい姿を見ると、勝ち負けよりも大切なことがあると、改めて考えさせられました。祭を盛り上げてくれた応援団、そして裏方の仕事に徹してくれた体育祭実行委員や美化委員、出場した選手たち、応援してくれた多くの人たち、全員の存在が創り上げた、価値ある行事となりました。本当にお疲れさまでした。

今回残念ながら参加できなかった人も、落胆する必要はありません。参加を思い悩んだ時が一瞬でもあれば、それで充分です。結果がどうであれ、思い悩んだ行為自体が、またひとつ、こころの鍛錬に繋がっているからです。

今後文理学院では、様々な学校行事を実施する予定です。楽しい思い出を増やす場としてだけでなく、協調性や社会性を養う、成長のための機会にして欲しいと思います。一期一会の精神を忘れないでください。常に一生に一度のもの、だから誠意を尽くして臨む。新型コロナウイルスは、今も決して安心できる状況ではありません。だからこそ、行事だけでなく毎日の生活も含め、今できることを大切にしてもらいたいと思います。そしてこの精神は、例え世の中がどのようなふうに変わっていても、必ず生きる糧となるものです。

保護者の皆様、体育祭開催につきまして、温かいご理解とご協力を賜りましたことを深く感謝致します。また当日は沢山の方にご来場頂きまして誠にありがとうございました。学院としましては、今後も生徒たちが様々な体験を積み、成長できる場をひとつでも多く創出していきたくと考えております。ただ、行事の実施につきましては、まだまだ予断を許さない状況の中、各関係先との連携等に多くの時間がかかるため、公表までにお時間を頂くことを何卒ご了承ください。今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 行事予定

### 十月

六日 後期始業式

十日～十二日

一年 林間学校

十二日・十三日

二年 スクーリング

十九日

一・二年 進路説明会

三年 体育

二十一日 漢字検定(放課後)

二十六日 体育

二十八日 博物館・社会科見学

二十九日 公開授業日

三十一日 公開授業日代休

### 十一月

九日 体育

十六日～十八日 文化祭準備日

十九日・二十日 文化祭

二十一日 文化祭片付け(午前)

二十二日・二十四日 文化祭代休

二十六日 公開授業日

二十八日 公開授業日代休

### 十二月

九日 芸術鑑賞会

十日 公開授業日

十二日 公開授業日代休

十四日 大掃除

十五日 パソコン検定(放課後)

十六日 学年集会

冬季休業(一月五日まで)



新型コロナウイルスの影響で、予定が変わることもございます。予めご了承ください。

# 体育祭

九月二十五日(日)、台東リバーサイド陸上競技場にて、第二十九回体育祭が開催されました。

体育祭に対して、苦手意識を持っていた生徒は少なからずいたでしょう。しかしながら、クラスメイトと一緒に競技に参加したり、出場している友達を応援したりすることで団結する素晴らしさを経験し、苦手意識を随分克服できたのではないのでしょうか。

また、クラス対抗の競技では、「目標に向かって集団で何かを行う楽しさ」を肌で感じられたと思います。また一つ、大きな行事を通じて大切なことを学べましたね。

今回の体育祭で得たクラスの団結力を、十一月の文化祭で発揮してください。

## 体育祭を終えて

朝倉 慎太郎

一昨年度の体育祭は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、体育祭そのものが中止となりました。また、昨年度の体育祭は、午前中のみの短縮した日程で実施する予定でしたが、当日あいにくの大雨に見舞われ、応援団と大縄跳びのみの実施と相成りました。

そのような経緯を経て、ようやく今年度、終日での体育祭を開催することができました。三年生ですら、きちんとした体育祭を経験したことがなく、つまりは、誰もが初めての状態で臨む、とても大変な一日でした。

しかし、そうした状況にかかわらず、応援団の熱のこもった演舞も、体育委員の積極的な活躍ぶりも、美化委員の責任感のある仕事ぶりも、とても素晴らしいものでした。

また、競技に出場する皆さんの一生懸命な姿や、大縄跳びで団結する様子なども、見ている人たちに感動を与えるものでした。

「『新時代』を切り拓け！熱戦・熱闘・超全力」のスローガンの通り、皆さんの全力によって成功を収められた内容の濃い体育祭でした。今回見せてくれた全力を、次に控える文化祭でも発揮してくれることを期待しています。

## 体育委員長 三年一組 渡邊 つむぎ

今年度は天候にも恵まれ、晴天の中、体育祭を行うことができました。本格的な体育祭は皆初めてで、上手くいくか不安でしたが、体育委員や皆のおかげで、心に残る素晴らしい体育祭となりました。

応援団は、夏休み中から積み上げてきた練習の成果がしっかりと出ていました。団長の大きな掛け声に合わせて、短い練習期間の中でも素晴らしいパフォーマンスができました。

全員参加の大縄跳びは、どの学年も懸命な声掛けをしていて、一致団結していましたね。また、対抗リレーでは、応援が絶えず飛び交っていて、会場全体が盛り上がりました。

一年生のフライシートリレーは、ポールを落とさないように速く持っていく難しさがありましたが、どのクラスもチームワークが良く、速くて驚きました。

二年生の大玉送りは、一生懸命周りを見ながら転がす力を加減しており、協調性を感じました。

三年生の綱引きは、一人一人の力が集まって一つの大きな力となっており、さすがの団結力を感じました。

全学年、競技で共通することは、協力して心一つにすることです。皆がこの体育祭を通して、周りと協力することの大切さを学び、体育の得意不得意に関係無く、多くの人に『楽しかった』と思ってもらえていたら嬉しいです。紅組、白組共にお疲れさまでした。皆の笑顔、素敵でした。

## 一年一組 十河 憩

この体育祭で一番印象に残った競技は、学年種目のフライシートリレーです。このリレーは、体育の授業での練習もなく、ルールだけが体育祭の直前に知らされました。似たような種目を中学生の頃の体育祭でやりましたが、いざ本番となると他の仲間の足を引っ張らないかや上手く出来るかなど、とても不安になってきました。自分のグループは二レース目でしたが、最後のレースも走ることにになり、より一層緊張感が増してきました。

そして、一レース目が終わっていたよいよ自分達のグループの番になりました。前のレースを走った仲間からボールの乗ったシートを受け取る際に隣の人とシートを持つ場所が被って少し時間を使ってしまいました。後はずいぶん遅らせてくれたので、その後は一位の状態をキープしてしっかりと走り抜くことが出来ました。この時に眼鏡を落としてしまいました。今は勝つことの方が大事だという判断が出来たのも良かったです。

そして遂に最終レース。ここまで仲間が作ってくれたペースを崩すまいと緊迫感に駆られていましたが、一緒に走っている仲間と足並みを揃えて、ボールを落とさずそうにならながらもゴールまで走り切り、全クラスの中で一位を取ることが出来ました。最後のレースを走り抜いた時の

爽快感は格別で、クラスの皆からの歓声に包まれて列に戻った時は、クラス全員でこのフライシトリレーを制した、という団結力を感じました。

今回の体育祭で、クラスの皆が互いを信じ合い、絶対に成功させようと思っていることを知って、これから先の林間学校や文化祭もこのクラスで最高の思い出にしようと思いました。

### 一年二組 小澤 駿二

私は、体育祭で楽しかった思い出が二つあります。一つ目は百メートル走です。正直なところ、私は走るのが苦手なので、勝てるか不安でした。しかし、父に負けてもいいから最後まで走れと言われたことを思い出し、勝ち負けではなく、走りきることに集中しました。その結果、順位は五位でしたが、満足することができました。最後まで諦めずに走り続けることができ、良い経験となりました。

二つ目の思い出は、フライシトリレーです。フライシトリレーは、今までに行ったことのない競技で、とても興味を持ちました。そして、本番は緊張しながらも、チームメイトと走り切りました。全員で速度を合わせ、シートを低く持つことで、ボールを落とさず完走しました。チームメイトと息を合わせて走り続けることができ、嬉しさと達成感でいっぱいでした。

自分が出場した競技はもちろん、友人や先輩が出場した競技も皆がゴールを目指し、一所懸命突き進む姿はかっこよかったです。やはり、勝敗を争う楽しみ方もありますが、ゴールを目指し、全力を注ぐことで楽しむことができると感じました。

### 一年三組 金子 優汰

九月二十五日に高校生活初めての体育祭が行われました。

まず開会式に参加しました。しっかりと話を聞きながらも、「ちゃんと走れるかな」と考えてしまい、緊張と不安でいっぱいでした。開会式後は、スタンドで休憩した後、一年生全員の種目である、フライシトリレーに参加しました。練習なしで競技を行うことになっていたので、しっかりとできるか不安でしたが、自分としては、かなり上手くできたと思います。クラスの結果は最下位でしたが、とても楽しかったです。

次に参加したのは大縄跳びです。大縄跳びは体育の時に練習したこともあって、よい感じのタイミングで跳ぶことができ、クラスの跳んだ回数に大きく貢献できたと思います。

そしてクラス対抗リレーに参加しました。久しぶりに走ったので、昔よりも走りが遅くなっているように感じました。思っていたよりも速く走れなかったので悔しかったですが、来年はしっかりと練習をして、よい走りを目指したいです。

午後の部では、応援団の演舞を見ました。その演舞はとても素晴らしく、自分も来年は応援団に入って、踊ってみたいと思いました。最後に閉会式に参加しました。結果は、紅組の負けでしたが、全部楽しく、とても思い出に残る体育祭となりました。

### 一年四組 山口 愛姫

九月二十五日に高校になって初めての体育祭が行われました。

私は、個人競技では障害物競争とクラス対抗リレー、そして一学年全員参加のフライシトリレーと大縄跳びに出場しました。更に、応援団を務めた紅白応援合戦にも出場しました。なかでも一番印象に残ったのは、応援団です。

応援団の演舞では、大勢の前で踊ることが少し恥ずかしいと思っていました。しかし、いざ本番になると、ダンスに集中していたので、恥ずかしさはなく、「今までの練習の成果を出して頑張ろう！」と、思いっきりダンスを踊ることができました。元々、ダンスに自信がなく、不安が大きかったのですが、紅組担当の先生方のおかげで、早めにダンスを覚えることができました。本番でも満足いくダンスを踊れて、本当に良かったです。先生方に感謝しています。ありがとうございました。

出場した全ての競技に全力で頑張りましたが、残念ながら、紅組は負けてしまいました。それでも、高校生活で初めての体育祭は楽しく、良い思い出になりました。

来年も体育祭が開催できるなら、今年度は優勝を目指して全力を出しきって、今年よりも、もっともっと素晴らしい体育祭にしたいと思います。



### 二年一組 伊藤 大地

天気にも恵まれ始まった体育祭。今回の体育祭で感じたことは、団結力の大切さです。

まずは、大縄についてです。この競技は、今回僕が一番勝利に拘りを持っていました。屋上で練習をした時に、連続で跳ぶことができたので、これは勝てるぞという自信がありました。

いざ迎えた本番。最初は、皆緊張していたのか、思うようにいきみませんでした。何度か跳んでいるうちにリズムを掴み、合計百回跳ぶことができました。結果発表で、総合第一位ということを知り、とても嬉しかったです。クラスのみんなで、団結することができて、良い経験になりました。

次に、応援団についてです。ダンスは未経験でしたが、夏休み前から練習を始めて、必死に頑張りました。その結果、本番では、ミスなく踊り切ることができました。他の競技も含めて、思い出に残る体育祭でした。

## 二年二組 前原 愛香

体育祭への参加。思い返すと何年ぶりになるだろうか。

文理に転校を決めた一つに学校行事があるところだった。そして、その初めての行事が今回の体育祭だ。

大好きな友達ができ、仲間と迎えられる体育祭。体育委員だったので、放送やその他の仕事もあり忙しかったが、クラスメートの応援や他のクラスへの声援も出来た事、本当に楽しかった。いつもお弁当も教室で各々黙食なので、快晴の中でのみんなとの食事は格別だった。

大縄跳びがクラス全体で三位になった事、先生が大きな声を出してクラスを応援してくれた事、みんなそれぞれに応えられ、先生の喜んでいる顔が見られた事が嬉しかった。紅白リレーも人生で初めて選ばれて不安と緊張しかなかったが、走り始めたら楽しかったし、一位で受け渡す事が出来て嬉しかった。みんな頑張っていたし、自分も頑張ったと思うし、この先も行事を通して絆が深まったらいいな、と思った。

「自分には出来ない」と思う事でも、やれる事が改めて分かったからこれからも自らチャレンジしていこうと思う。そんな事を感じる体育祭だった。



## 二年三組 竹内 伶

今年も体育祭の季節がやってきました。今年は、昨年のように雨が降ることなく、朝から太陽が顔を出してくれ、素晴らしい快晴となりました。初めての午後までの体育祭は、朝から不安と緊張でいっぱいでした。

最初に出場したのは百メートル走でした。結果は五位で悔しかったですが、それと同時に『来年こそは』という気持ちでいっぱいになりました。

クラスが一致団結して臨んだ大縄跳びは、悔しい結果となりましたが、全員で一生懸命に跳んだことは良い思い出になりました。その分、その後に家族と食べた昼食はとてもおいしかったです。

今回の体育祭は天気にも恵まれ、クラスメイトとの素晴らしい思い出をつくる事が出来て、本当に嬉しかったです。

## 二年四組 寺川 楠

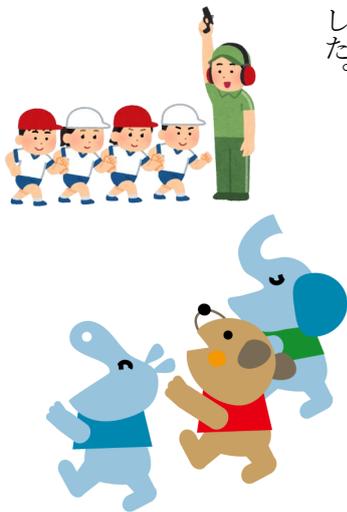
九月二十五日に体育祭が行われました。前日は、台風の影響で雨が降っていましたが、当日は太陽の眩しさを感ずるほどの暑い日になりました。

私は運動が苦手なので、初めは不安でしかありませんでしたが、友達の「一緒に頑張ろうね!」の応援に励まされ、当日を迎える事が出来ました。しかし、自分が出る種目で緊張で

不安になってしまいました。その時、今度先生から「大丈夫だから楽しくやろう!」と応援をもらい、無事に走り切ることが出来ました。

私が今回の体育祭を通して思ったことは、自分が苦手だと思うことでも一度チャレンジをしてみることは大切であるということ。チャレンジしたことが将来の自分にとって、一生の大切な思い出になると思います。

今回の体育祭は、友達や先生からの応援をもらい、さらにクラスのみんなが協力も出来て、私の大切な思い出になりました。



## 三年一組 今高 としき

高校生活最後の体育祭が無事に行われました。昨年度は雨の中、プログラムが短縮されてしまったので、まず開催されたことが嬉しかったです。体育祭が実施された九月二十五日は、とても充実しており、楽しい一日になりました。

私は今回、応援団の団長や体育委員など、多くの役割があり大変でした。応援団はおよそ一ヵ月前の夏休みから、ダンスや応援合戦の掛け声を一生懸命に練習してました。

進路活動との両立は大変でしたが、仲間がいたから頑張れ、やり遂げることができました。当日も、皆からの声援が嬉しく、大きな達成感を感じることができ、本当にやって良かったと思っています。

体育委員では、審判を担当しました。体育祭の運営に関わる大事な役割だからこそ、集中してやり切ることができました。委員会活動にも責任を持って取り組むことができたと思います。

今回の体育祭を通して、仲間達と協力して一つのゴールに向かっていくことの大切さや楽しさを改めて感じる事ができました。次の文化祭でも、今回得た経験を活かして、頑張っていきたいです。

## 三年二組 池田 明梨

私は、今回の体育祭で団結力の大切さを改めて実感しました。

今年の体育祭は、高校生活最後の、かつ、すべての競技を行うことができた初めての体育祭だったので、皆とても張り切っていました。私もその雰囲気感化され、全力で最後の体育祭をやり切ろうと意気込んでいました。

私が出場した競技は、障害物競走、クラス対抗リレー、大縄跳び、そして綱引きです。その中で、特に印象に残った競技は綱引きでした。

この競技は、一度も実際に練習することができず、ぶっつけ本番でした。また、私たちのクラスは、普段の体育の授業では他クラスになかなか勝つことができないでいたので、不安が大きかったです。しかし、結果は二戦中二勝で、まさかの勝利にとっても驚きました。それと同時に、皆が喜んでいるのを見て、私もどんどん嬉しさがこみ上げてきました。

私たちのクラスが今回綱引きで勝つことができたのは、試合前に話し合っ、メンバーの位置を決めるなどの戦略を立て、息を合わせて団結できたからだと思います。

この経験のおかげで、一人では難しいことも、皆で協力すれば成し遂げられるということを実感することができました。今後も団結力を大切にすることを意識し、様々なことを乗り越えていきたいです。

三年三組 木村 裕輔

高校生活最後の体育祭は、心配されていた天候にも恵まれ、晴天の中の開催になりました。たくさんさんの競技がありますが、私の出場した競技について書きたいと思います。

私は四つの競技に出場しました。

まずは、百メートル走です。中学生以来の短距離走でしたので、感覚が思い出せませんでした。二位という結果を出せました。

次は、大縄跳びです。体育の練習の際は、学年で最下位であり不安を感じていました。しかし、本番では、皆の息が揃い、学年の中で最も多く跳べました。合計で九十二回跳ぶことができ、全学年クラス中で二位という素晴らしい結果を残せました。

部活動対抗リレーも印象的でした。野球部の代表として、三走目を走りました。五位に終わり残念な気持ちもありましたが、四人で一生懸命に走る事ができたので、満足しています。

最後に、学年種目の綱引きです。クラス全員で精一杯に綱を引きましたが、勝つことができず、本当に悔しかったです。

良い結果を残せた競技も、そうでない競技もありますが、私は、今回の体育祭で、クラスで力を合わせて協力する大切さを知りました。とても充実した体育祭となり、本当に良かったです。

三年四組 鈴木 勝利

九月二十五日に体育祭が行われました。前から雨予報でしたが、当日は奇跡的に晴天に恵まれ、とても喜んだことを今でも覚えています。

私は、体育委員である為、皆よりも早くに競技場に着き、スローガンの看板を取り付ける作業や、各種目で使う用具の準備をして、開催されることを楽しみに待っていました。

開会式後、競技へと移り、まず、私が出場した競技は全学年クラスで行う大縄跳びでした。練習時はたくさん跳べていましたが、本番はなかなか跳べず、回数を重ねることはできませんでした。しかし、クラスで協力できたことが嬉しかったです。

次に、クラス対抗リレーに出場しました。アンカーで走りましたが、結果は最下位でも残念でした。そして、部活動対抗リレーにも出場し、全力で走り切りました。さらに、最後の私の出場競技である学年種目の綱引きは、一度勝つことができ、クラスの団結力が見せられたと思います。

最終結果は、私たち、白組が優勝でした。一生懸命頑張った分、とても嬉しかったです。今回は初めて、最初から最後まで行えた体育祭となり、高校生活最後の年で経験できたことが何よりも良かったです。



英語検定合格者

一年一組

荻原 志桜里 小野澤 柊子  
島村 光桜 高岡 のぞみ  
中村 晃己 中山 優  
富士原 友樹

一年二組

岡本 莉子 中村 依生  
笠 馨太

一年三組

菊池 陸斗

二年一組

石川 大貴 指宿 菜々子

二年二組

鈴木 武尊

三年一組

伊藤 時生 小倉 数磨  
糟谷 梨花 後藤 舞花  
野口 真桜 森下 知洋

三年二組

岡本 菜都子 桐山 大幹  
佐藤 青樹 鈴木 創心  
鈴木 優佳

三年三組

上野 想弥 谷ッ田 真之介



## パソコン検定合格者

一年一組	小野澤 柊子	梁瀬 志麻
一年二組	小川 花美	宮前 航
二年一組	村田 琳汰朗	
二年二組	岩松 昭衛	鈴木 武尊
	西村 悠斗	古島 創
三年二組	桐山 大幹	桜井 健弘
	鈴木 優佳	鈴木 陸来
一年四組	山部 詩音	
二年二組	高島 和美	
二年四組	磯貝 光希	
三年四組	相澤 輝季	長島 美菜



## 漢字検定合格者

一年一組	鶴飼 扇ノ介	荻原 志桜里
	小野澤 柊子	川崎 涼雅
	児玉 千聡	昆 美代子
	鈴木 彩巴	高岡 のぞみ
	高橋 明美	辻 恵汰
	待鳥 正剛	梁瀬 志麻
一年二組	石川 遙花	江口 優羽
	岡本 莉子	小川 花美
	奥村 咲太郎	小澤 駿二
	後藤 怜奈	小森 愛友
	鈴木 優希	中村 依生
	笠 馨太	
一年三組	金子 優汰	菊池 陸斗
	中島 悠吾	松本 啓史
	三木 康太郎	
一年四組	金城 舞翔	中村 日香理
	百瀬 正崇	山口 愛姫
	山口 禮	山部 詩音
	ローマン ケン	
二年一組	太田 真稟	岡田 遥菜
	河口 陽彦	齊藤 旭
	坂寄 隼輔	須田 絢音
	戴 萌香	釣井 咲来
	藤田 理希	村田 琳汰朗
	山田 裕高	



二年二組	井上 陽菜	上野 帆乃夏
	葛西 煌大	坂口 優人
	林 祥大朗	
二年三組	加藤 康平	小西 優輝
	塚原 大翔	
二年四組	後藤 春ノ介	式田 良洋
	鶴岡 航大	福原 美心
三年一組	明山 伶次	石川 千尋
	伊藤 時生	後藤 舞花
	坂路 泰一	鈴木 爽斗
	松坂 航平	渡邊 つむぎ
三年二組	齋藤 慶丞	鈴木 創心
	鈴木 陸来	
三年四組	田山 流楓	長島 美菜
	二宮 菜緒	



「文化祭の経験から得られるもの」

石坂 美朋

文化祭がもうすぐ行われます。文化祭といえば模擬店です。模擬店とはいえ、経営方針を決め、より多くの集客が求められるため、行うことは実際のお店と大差ありません。

ところで、文化祭をなぜ行うのか疑問に思ったことはありませんか。文化祭の「文化」とは、社会の営みを意味しています。私は、文化祭とは社会人の模擬演習を経験する場所なのだと考えています。

皆さんはどのような社会人になりたいですか。卒業後、社会人となった自分を想像してみてください。その理想像に近づくために必要な経験は何ですか。理想への近道は「積極性」です。私は皆さんがこの文化祭に積極性を持って取り組み、社会人の模擬演習を経験し、自分の理想像にまた一歩近づいてもらいたいと思っています。

文化祭が皆さんにとって、多くの経験を得る機会になることを願っています。

